

令和元年7月25日(木)北海道新聞朝刊

小6男児自殺

いじめ調査へ

千歳・野田で第三者委

千歳市野田市立小6年の男子児童が13日に自宅で自殺していたことが24日、捜査関係者への取材で分かった。市教育委員会は、いじめの有無を調べるため、近く医師や弁護士で構成する第三者委員会を設置する。男児は7月上旬、いじめに關する学校アンケートに回答していたが、市教委は「道族の強い意向」を理由に内容を明らかにしていない。市教委や捜査関係者によると、死亡した13日は土曜だが午前中に授業があり、

男児も出席。下校後、自宅できなくなった。

遺族が原因の調査を求め、市教委は「重大事態」として第三者委の設置を決定。6年生の保護者会で事実関係を説明し、いじめを見たり、聞いたりしていないうかを尋ねる文書を配布した。

野田市中では、市立小4年の栗原心愛さん(当時10)が1月に死亡した虐待事件を受け、全市立小中学校が児童生徒に個人面談し、7月にいじめに關するアンケートを実施。市教委の担当者は「死亡の原因は分からない。回答内容を含めしっかりと検証したい」としている。

令和元年7月25日(木)北海道新聞朝刊

令和元年7月7日(日)北海道新聞朝刊

岐阜中3死亡 いじめ調査へ

市教委、教職員聴取も

岐阜市立中3年の男子生徒(14)がマンションから転落死した問題で、学校側が3年生全員と男子生徒が所属していた部活動の部員を対象に、いじめの実態を把握するためのアンケートを8日にも実施することが6日、市教育委員会への取材で分かった。全教職員からの聞き取りも行う。

市教委によると、男子生徒が死亡した3日以降、十数人の生徒から口頭や生活ノートへの記載で、死亡した生徒が受けたいじめと疑われる行為について情報提供があった。金銭を要求さ

られたり、つばや口に含んだジュースを吹きかけられたりしたのを見聞きしたという内容で、トイレで土座をさせられていたとの情報もあった。

市教委は、これらの行為には多数の生徒が関わっていた可能性があるとみてい

中3男子転落死か

岐阜市教委いじめ調査

3日午前8時10分ごろ、岐阜市長良西野前のマンションの駐車場で、市内の中学3年の男子生徒(14)が倒れているのを付近に住む女性が見つけ、119番した。男子生徒は意識不明の状態

で病院に搬送されたが、その後死亡が確認された。岐阜北署はマンションから飛び降り自殺した可能性もあるとみて、経緯を調べている。

市教育委員会は同日に記者会見を開き、外部有識者

令和元年7月25日(木)北海道新聞朝刊

中1自殺顧問が暴言

さいたま市 第三者委を設置

さいたま市は2日、市立中学1年だった男子生徒(13)が昨年8月に自殺していたことを明らかにした。男子生徒が所属していたバドミントン部の男性顧問が部内で「存在する意味あるのか」などと発言していたという、市は自殺の原因を検証するため第三者委員会の設置を決めた。

市教委などによると、男子生徒は昨年8月23日から3日間部活動を休んだ後、26日に自殺した。部活動を休んだ間、ゲームセンターに行っていたのが見つかり、自殺する前日には顧問から自宅に電話があったという。同校が全校生徒を対象に実施したアンケートで、顧問が「おまえ存在する意味

あるのかよ」「顔が悪くない」と発言していたことが判明。胸ぐらをつかむなどの行為もあり、校長が指導した。

一方、遺族は2日に記者会見し、学校側から自殺を公表すれば「保護者会で遺族が説明しなくてはならない」と説明されていたことを明らかにした。「マスコミが告別式に押し掛ける」とも言われ、「不慮の事故」とすることで合意したという。市教委は「遺族の意向に沿った。強要していない」としている。

中3死亡「いじめ主因」

広島 第三者委が報告書

広島市佐伯区の市立五日市観音中3年の女子生徒が昨年7月に死亡し、後にいじめを受けていたことが判明した問題で、有識者でつくる第三者委員会は「いじめが死亡の主たる原因となつたと推認する」との報告書を公表した。

報告書は女子生徒へのいじめが小学校から続いていたと指摘。暴言や悪口に加え、中3になると「汚い物扱い」され、小石を投げられるなど悪化し、クラス替えで仲の良かった友人と離れたことも重なって孤立感を深め、死に至つたとした。学校側は日常的に複数の生徒へ嫌がらせをする加害者への指導に追われ、女子生徒も「大丈夫」と答えたことなどから個別の聞き取りや校内での情報共有をしていなかった。第三者委はいじめの積極的認知などの再発防止策も提言した。

女子生徒は昨年7月24日朝、校舎近くの駐車場で転落しているのが見つかった。自宅には遺書のような手紙が残されていた。調査結果を受け両親は「再発防

止策が学校現場でどう生かされていくか見続けていく」とコメントを出した。

中2自殺「いじめあつた」

八王子市教委 第三者委設置へ



永石陽菜さん
(遺族提供)

東京都八王子市の教育委員会は6日、記者会見を開き、市立中学2年の永石陽菜さん(13)が8月に自殺を図り、その後死亡したと発表した。3月まで在籍していた中学での部活動でトラブルがあつたとする遺書を書いており、市教委は中学の内部調査を受け「いじめがあつた」と認定した。今月中に有識者による第三者委員会を設置し、自殺との因果関係を調べる。

市教委によると、陽菜さんは昨年8月、家族旅行で部活動を休んだことから、上級生から会員制交流サイト(SNS)で「アウツして休んだ」と批判され、不登校となった。

両親は「上級生の批判後、同級生からも無視されるよ

東宮部八王子市の教育委員会は6日、記者会見を開き、市立中学2年の永石陽菜さん(13)が8月に自殺を図り、その後死亡したと発表した。3月まで在籍していた中学での部活動でトラブルがあつたとする遺書を書いており、市教委は中学の内部調査を受け「いじめがあつた」と認定した。今月中に有識者による第三者委員会を設置し、自殺との因果関係を調べる。

市教委によると、陽菜さんは昨年8月、家族旅行で部活動を休んだことから、上級生から会員制交流サイト(SNS)で「アウツして休んだ」と批判され、不登校となった。

両親は「上級生の批判後、同級生からも無視されるよ

市内の駅で電車で飛び込み、約2週間後に死した。遺書は、部活動でのトラブルを乗り越えられなかった自分を責める内容。前に通っていた中学校の校長が手問のため、自宅を訪れると、父親から、転校後もSNSでいじめが続いていたとの趣旨を伝えられた。

市教委は、上級生の謝罪後も陽菜さんの不登校が続いたことについて「対応に問題があつた」と謝罪。設楽恵学校教育部長は「後悔と痛恨の極み。誠心誠意対応したい」と述べた。

「第二の娘出さないで」両親訴え

八王子市立中学2年の永石陽菜さんが8月に自殺を図り、その後死亡した問題で、父の洋さん(57)と母の幸子さん(47)は6日、取材に対し「第二の陽菜を出さないよう、学校は対応を改善してほしい」と訴えた。

両親によると、陽菜さんが昨年8月、部活動を休んで家族旅行に行った際の写真を会員制交流サイト(SNS)に投稿すると、同じ部活動の上級生から非難されるようになった。学校側に対応を求めたが「そんな悪い生徒はうちにはいない」と、最初は取り合ってくれなかったという。

自分の部屋にある机の上に置かれた遺書には「学校に行かなくなったのは部活が理由」「部活で仲良くしていた子に無視されたこと」が書かれていた。

洋さんは「本当に部活が大好きで毎日のように家で『今日はこんな練習をしたんだ』と話してくれた。学校や教育委員会は、事実をしっかりと調べてほしい」と求めた。